

京都教区時報

第126号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨

編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東入 Tel 761-9095

特集・ウォーカソンの送り先

マリアの年によせて ('87年6月7日~'88年8月15日)

「ナイス」のかたわらにマリアが立って

今年6月7日聖霊降臨の祝日から来年8月15日被昇天の祝日まで、マリアの年と制定されました。それを受けて日本司教団は「聖母マリアに対する崇敬」(8月15日付け)と題し、教書を発表しました。

福音宣教推進全国会議開催年にあたり、聖母に対する崇敬を通して、福音の教えを正しく悟り、生活の中で信仰を生き、人々の救いに協力する姿勢を確立される様、司教団は、この教書を通じて願っているのです。

聖母への崇敬が昔ほど盛んではなくなった反面、暗い印象を与えるしかも誇張されたマリア信心の広がり、司教団は案じています。

世紀末特有の、しかも現代の不安の状況に輪をかけた様に新宗教が流行の様になっているが、聖母に対する崇敬も同方向のものと誤解されない様、万全の注意をしなければならぬのです。

司教団はこの教書で聖母崇敬の望ましいありかたを、5つにまとめて語っているのです。

それをまとめれば、マリアの信仰、希望、愛の態度をならいつつキリストの救いの業を記念し、祝

い、生きることをめざすのが、マリアの正しい崇敬です。

マリアの崇敬を通して受ける恵みは、明るく希望にあふれたもの。救い主キリストへの信頼と平和、罪の痛恨と新しい生き方への回心を促すものです。反対に罪の罰や地獄の恐れをちらつかせて、信者の心に不安や恐怖を引き起こすようなものは、真のマリア崇敬ではありません。神のひとり子を与えるほど、この世を愛されたのであり、マリア崇敬はこの愛に私達を引きつけるものです。

マリア様は教会の母と言われます。又「女王である以上に私達の母」でもあります。キリストの前に大手をひろげて、その栄光をさへぎる様な事はなさいません。

マリアは仲介者です。しかも奥ゆかしい仲介者です。カナの婚禮の話を見て下さい。聖霊降臨の高間を見て下さい。マリアはそっとその陰にいて支えて下さる。

ナイスの時もそうして下さい。十字架のもとにそっと立たずまれた様に、我々の側にそっと居て下さるでしょう。

村上透磨(教区時報編集長)

11月15日(日)

京都教区創立50周年、教区一斉記念ミサ

(典礼文ができています)

'87年 司祭研修会

9月14日～16日

於 野外礼拝センター

司祭修道師第7回夏期研修会が9月14日昼より、16日昼まで新しく出来た、野外礼拝センターで行われた。

今回はナイスを前にして、ナイスの9つの要点を司祭の立場から具体的に組み組もうと計画された。ナイス実行委員会から、神林師岡田師両師を招き、ナイスへの経過、内容の取り組み方について、短い講演をしていただき、そのあと5つのグループに別れ、ナイスの大会とほぼ同じ形式で話し合いをした。即ち時間を3つの「柱」にわけ、各「柱」を検討する前に、ロベス、ラッキー、ルーニーのナイス代表者による提言を受けての討論であった。

話し合われた内容については後程、機会があればお報せしたい。ただ少しだけこの研修会を通じて感じたいいくつかの事を述べておきたい。

第一は課題の内容の豊富さに、短い期間で、すべてこらし切れないのではないかと懸念が表面化

した様に思えることである。

そのため出来るだけナイス前に、話し合いがなされる必要がある。ナイスはむしろ結論を持つてくる位にしなければならぬのではないか、その意味でナイスはすでに始まっている事に重点をおいて、取り組みねばならない。

第二はビジョンとビジョン以後の見直しとどう調和させるかと言う事である。内容的には同じなので京都はもっとビジョンにそって具体化して行つてよいのではないか。今司牧評が見直しとして取り上げた優先課題は、

1 適正配置 2 青少年の問題 3 パイプのつまり（伝達交流の行きづまり）である。

尚出席者は約44名、約半数に近い司祭修道者の出席があった。又今回の実行委員はナイス司祭代表者が中心になった。

※



野外礼拝センター完成



黙想の家



野 外 聖 堂

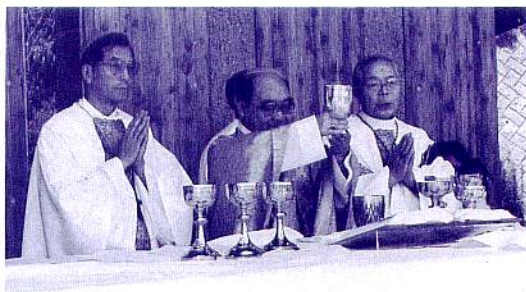


約6mの大十字架

申し込み先
〒631 奈良市朱雀4-3-2
カトリック野外礼拝センター
☎0742(71)6031 西原まで
皆様、気軽にご利用下さい。



8月6日の竣工式



「みんなでつくる 開かれた教会」にむけて 各地では・・・ (3)

京都南部

桃山教会婦人会研修会

「ナイス第1の柱」について取り組んだ

8月11・12日、唐崎のノートルダム修道院において教理センタースタッフのご指導のもとに桃山教会婦人会（伏見教会からも五名参加）一泊研修会を行いました。福音を通して話を聴き、スライド、分かち合い、ときには歌を歌ったり、おしゃべりをしたり楽しみながら「ナイスの第一の柱」について取り組みました。

一日目。過去の歴史を振り返り戦争の加害者、侵略者として日本人が何をして来たか。中国、韓国、朝鮮、東南アジアの国々に対し自分達の遠くない先祖が何を行って来たか。『南京大虐殺』ひとつ取り上げても、もう想像するのにもいやなくらい、どれだけ人間を踏みにじって来たか。そしてその事実がどれだけ上手に隠されて来たか。国家神道のもとに忠君を強いられ、一般の日本人も被害者ではあったけど一方的に残虐非道な目に合わされた訳ではない。そして戦後も義務教育の期間中、「侵略」について近代史ではほとんど習った記憶が無い。これらは何を意味しているのだろうか。

研修二日目、「人を食うバナナ」のスライドを見せてもらった。現在、「援助」の名のもとに日本の企業がどれ程酷い事をしているか。最近、しばしば問題にされている買売、じゃばゆきさんの事も、その背景を探らず、無関心を決め込んでしまう。キリストの福音云々以前にはつきり見たくないもの、知りたくないもの、ごまかしてきたものがあまりにも多いのではないだろうか。バカチョンカメラのチョンは、朝鮮を蔑視した言葉だとは知らなかった。以後、ワンタッチカメラと呼ぼうと皆で話し合っていたが、知らないでいると誰かを傷つけ、踏みにじっているかもしれないと言うこと。これはある意味でとても恐ろしい。知らなかったから許されているのだろうか、いっそ何も知らないままの方がどんなに気楽だろう。しかし情報社会と言われる現代、外登法も、靖国法案も、先進国企業のアグリビジネスによってもたらされる飢饉、難民問題、日本企業の公害輸出もほんの断片的にしる、知らずに過すのは不可能だと思う。

研修中、近所のそば屋さんに食事に行った時、全員木箸を持参し「割箸の使い捨て」を考え直してみた。木材資源の自然破壊をほんのわずかで遅らせることができるなら、少々勇気と手間もいるけれど、これから自分達も実行を考えて見ようかと思った。ほんの些細なことでも何かを始めていけば、又そう言う仲間と手をつないでいけば、少しずつキリストの望まれるような社会へと変っていくのではないだろうか。それから、ひとつ気が付いた事は、戦争を体験した世代と戦後の教育を受けた世代の感覚的なズレである。けれど同じ信仰に生きる私達は、どんなに時代が変わろうと、キリストに結ばれている者同志の信頼感を持つ事ができると思う。信頼できる人からの話なら信じられると誰かが言った。仮に自分には理解できない考え方、活動があってもキリストの教えにはつきりと背いていない限り、できるだけ受け入れていきたいと思う。話しを聴き、知ってそれを認め、実践する姿勢など学んだことを日常の家庭生活の見直しから早速始めていきたいと思う。

（桃山教会 今井則子）

愛を示して下さい！

バングラディッシュとネパールの

子供達のために

第9回 みんなで歩こうウォークソン



第9回を迎えるウォークソンを、今年は、ネパール教区経営の小
学校で働くノートルダム教育修道女会のシスターを通して、学校施
設充実、運営費として、また日本キリスト教海外医療協力会、石川
信克医師を通して小児結核治療費のために行います。

マスコミではアジアの人々の苦しみがあり報道されません。し
かし私たちのより近いところで多くの人が苦しんでいます。ウォ
ークソンを通じ、忘れられそうな人々に目を向けてください。

バングラディッシュ

地域住民参加による

結核対策の推進

石川 信克

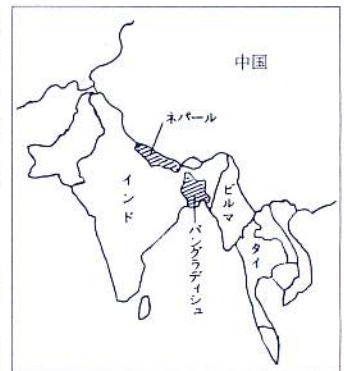
バングラディッシュ

ガンジス河がベンガル湾に口を
開く三角州にあるバングラディ
シュは、かつて肥沃な豊かな国だっ
た。長い植民地支配により国の発
展が遅れ、現在世界で最も貧しい
国の一つに数えられ、GNPも130
米ドル（日本の1/10）と低い。北海
道の2倍の土地に約1億の人口を
数えて、人口密度は世界最高位。
乳幼児死亡率は対1,000で120と高い。

死因の半数は下痢性疾患、次に熱
性疾患と、現代医学をもつてすれ
ば8割以上の死亡が治療・予防可
能な病気である。
アブドゥールの涙

ある日、いつも患者でこつた返
すダッカの結核センターで、一人
の患者が目止まる。年は30才位
だが、見るからにすつかりやせ、
目ばかりギョロギョロして、顔と
体全体に数ヶ月の苦悩があふれて
いる。案の定、全肺に病巣がある
強陽性の排菌患者であった。

治療の説明をしながら「家族は
誰かいるの」と聞くと、彼は黙っ
ている。よく見ると両目から涙が



流れている。「どうしたの」大の
男が人前でしゃくりながら答えた
「おれには家族なんかない。女
房も二人の子供もおれが肺病にな
ったといつて実家に連れていかれ
た。近所の人も誰も近寄ってくれ
ない。」ここまで言つて男はオー
ーと泣いた。「おれはもう死ぬに
決つてゐる。それならいっそシレ
ットの有名なモスクにお参りして
そこで死ぬんだ、それで今朝家を
払つて村を出て来たんだ。」

私はもらい泣きしながら怒った。
何故、今時の若い人が結核なんか
でこんな苦しみ、家庭が崩壊し
死んでいかねばならないのか。薬
も医者もあるのにこの人の所へ届
かないのか。アブドゥールの肩に
手をかけ私は「心配いらないよ、
これは治る病気なんだよ。この薬
をしつかり一年飲むんだよ。来月
またいらつしやい。」何回もくり返

し言っているうちに彼の顔、もし
て目の色が輝き出したのである。
私の七年の滞在中、こうした何
人の患者が私の前で涙を流したこ
とか。これらの涙は私の医療協力
の原点である。

現代の結核対策

政府の保健政策の中で、残念な
がら結核はあまり力を入れていな
い。

ダッカ小児病院を訪ねると結核
性髄膜炎の子供が絶えずみられ、
栄養失調で入院している子供の一
割が結核性と診断されている。悲
しいかな結核は治るもの、防げる
ものという常識は実質的に通用し
ない。国民の大半が住む農村の末
端まで、近代的結核医療が届くた
めにはどうしたらよいのだろうか。
そのためにはまず、政府結核対策
部が強化され、全国の保健センタ
ーの指導・監督ができるようにな
ること。末端の一般医療の中心で
ある保健センターの結核部門の質
的拡充をしていくことであろう。

しかしこのように上から下への
方策も、地域の住民参加による保
健活動があつて生かされると言え
る。5,000人以上の小地域に地区組織
やグループを育て、保健ボランテ
ィアを起こし、彼らの保健活動を

通して末端まで保健サービスを浸透させようとするまで、結核の患者発見・治療もその中でより有効に行われるであろう。

援助のありかた

先進国が高度技術にもとづく濃厚保健制度を進めている裏で、開発途上国の抱える保健問題は技術的には単純そうであるが、社会経済の総合的發展が必要という意味で深刻である。私は物が無い所で、人間の社会の在り方や、自立と人間性の向上にとって何が必要か、現地の人々と共に考え、苦勞しながら多くのことを学んだ。技術援助・開発援助も、欲するからといって、単に日本の技術や機械を持ちこむことよりも、相手にとって本当に必要なものは何か、一緒に考えながら真のニーズの掘り起こしをして行かなければならない。

これからの課題

国が抱える結核の課題はあまりにも大きく、日本からの援助も様々な分野で期待されている。小規模でも全体を見極めながら、試験的プロジェクトを起こし、長期に地道にかかわって行くことが、人起こし(教育)、啓蒙、の立場からみて大切なことであろう。私も日本の結核予防会の一員として、

現場の予防会を通して、これらの努力を積み重ねて行きたいと思います。

(メデイカルウェイNo6と87複十字誌より抜粋)

石川信克氏

結核予防会結核研究所疫学研究科
専門 結核・地域保健
昨年まで7年間バンングラディシユで治療にあたる。

ネパール

将来をにう

子供たちのために

Srベルナルドのインタビューから

国土の大部分は山岳地帯が森林地帯、山々の段々畑は美しい、しかし、大変貧しい国です。そしてこのキリスト教の布教がゆるぎのないネパールにノートルダム教育修道会のシスター4名が1983年初めて派遣されました。

シスターたちはカトマンズでネパール語の勉強をし、その後セント・メリー校でパートタイムで働く一方、夜は女性のために洋裁、編物、英語を教えておられました。1985年、教区長とバンディプールの村人の希望で小学校を開校し2人のシスターがそこで教えることになり現在に至ります。

公立の小学校があるにもかかわらず

らず文盲率80.8%(1975年15歳以上)。こうした状況の中で、ノートルダム校に通う生徒は68名、そのほとんどが授業料の半分の奨学金30ルピー(ルピー=7円)を受けているそうです。また大部分の教材は日本から送られています。しかしシスターたちは、子供たちにもらいぐせがつかないようになどきめ細かい教育をされています。絵本もテレビもない生活だから下校前の絵本を読む時間、子供たちは目を輝かし、くい入るように見ているそうです。

ネパールでボランティア活動をする人々や宣教師たちの自然な愛でネパールの人々の独立を保とうとしています。私はそれを応援していきたい。」とこのネパールの取材をさせていただいたシスターが語られた。

国の経済が外国の援助にたよっている中で、できる限り他の国の支配を受けたり、低い立場におかれたりすることのないよう、私たちウオーカソンを通じ、ネパールの人々の自立を助け、これからの将来をにうていく子供たちのために応援していきたいと思っています。

みことばを書こう(聖書週間)

書道作品募集

—聖書を生活の中に入れていこう—

日時 11月25日(水)~12月4日(金)

場所 京都カトリック会館6階ホール
〒604 京都市中京区河原町通三条上ル

応募要項

出品資格	児童の部・幼児~中学生、高校生 成人の部・どなたでも
出品要領	出品点数 1人2点まで 書体・大きさは自由 出品料・1点につき200円
〆切日	11月7日(日) 厳守
送り先	京都カトリック教理センター 〒606 京都市左京区仁王門通 新高倉東入北門前町49 ☎075(752)0057

●主催 京都教区・京都カトリック教理センター

外国人登録法の抜本改正をめざして

国会請願署名の報告

3月から集めていた国会請願署名は、京都教区はじめ新潟、広島、高松、福岡、那覇教区の皆様のご協力を得て、5625名分(考える会集計分)を送りました。外キ協では、8月21日を最終メットし、約8万名分を衆参両院議長に提出しました。どうもありがとうございました。

「改正案」成立

9月18日参議院本会議にて、外国人登録法「改正案」が可決成立しました。在日韓国・朝鮮人をますます差別し、指紋押す拒否者をいっそう弾圧するような「改正案」が成立したことについて、申しわけない思いでいっぱいです(3月号とじこみ参照)。状況はむずかしくなりましたが、今後とも抜本改正を求める運動をつづけていきたいと思っています。

なお、参議院本会議にて「改正案」が可決されたことにより、拒否者の逮捕国外退去命令がでる可能性がでてきました。

文責 京都教区指紋と人権を考える会

出張学習会のご案内

ミサ後など時間をいただければ外登法問題、在日韓国・朝鮮人問題について、「考える会」が出向いて学習会をいたします。有志のグループでも結構ですのでお呼び下さい。(OIC)をLSC(小山教会)に付

★九条教会出張学習会

10月11日(日)午前10時半より
近隣の方もどうぞ。

連続公開学習会のおしらせ

日朝関係の歴史、在日韓国・朝鮮人差別について学びます。どんなでもいつからでもお越し下さい。

10月3日(土) 夜7時半より
10月18日(日) 昼11時より
11月7日(土) 夜7時半より
11月15日(日) 昼11時より
いずれも小山教会伝道館にて

'87年4月以降の動き

●アルフォンソ師ほか
アルフォンソ師病気の
ため入管での調査は保
留中

●抜本改正を求める動き

4・12 「改正案」について
学習会(考える会)
4・26 外登法抜本改正を求
める関西キリスト者
集会
5・8 マツキントツシユ牧
師在留権訴訟を支え
る会結成
5・17 大相郡山外登法を考
える集い(奈良正平
協)

●国会の動きほか

7・25 「もうひとつのヒロ
シマ」上映会
8・1 朴寿南氏講演会(教
区平和への歩み)
8・9 三重外登法講演会
(教区平和への歩み)
8・28 白柳大司教らが首相
法相に外登法抜本改
正を要請
9・1 法相・国会議長へ請
願行動(外キ協)
9・4 「ある手紙の問いか
け」ビデオ学習会
(考える会)

6・14 イエズス
会ボネット神父ビ
ザ切れ
8・20 被昇天修
道会シスターマリ
ア、箕面市役所に
て指紋押捺留保
9・5 よりローフ
ジョシ氏再入国許
可を求めて無期限
ハンスト開始
9・8 ナドウ神父参
考人として事
情聴取

9・17 5
7・25
8・1
8・9
8・28
9・4
9・5

7・21
京都市が外登
法抜本改正を
求める要望書
を法務大臣に
提出
衆議院法務委
員会で「改正
案」審議
同右
衆議院法務委
および本会議
で「改正案」
可決

車検カローラクラス 96,250(全費用)

50余りのマスコミが絶賛!!

新車・中古車も市価より5~15万は安くなります

Auto Project
車検代行サービス (宇治教会・松浦博司)

京都営業所 ☎075-612-3504
京都市伏見区桃山町丹後33-87



『愛の賛歌』

特製紋織色紙

家庭の中に御言葉をも
丹後ちりめん夫婦鶴紋様

贈物としても好評頂いております
尚、極上の品もござります

〒625-25 京都府中郡大宮町岡只882
電話077-264-4136

あなたの良き隣人として

カトリック御葬儀
貸物一式(仏式可)

聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下安雄
(西院教会所属)

京都市右京区西院寿町23
☎(075)312-7829

ハンセン病者の光

福者「京都のラザロ」

列聖される

今年10月18日、列聖されることになった1637年(寛永14)の長崎殉教者16人の中に、福者「京都のラザロ」がいます。残念ながら資料が少なく詳細はわかりませんが私達の住むこの京都の出身者でありますので認識を新たにしてみたいと思います。

「ラザロ」は京都でフランシスコ会の神父から洗礼を受けましたが、ハンセン病(らい病)であったため長崎奉行所の通訳の記録に名前がない唯一の人で、ただ「日本人俗人」とだけ記されています。この「ラザロ」という名前も殉教録を書いたデイエゴ・ロドリゲス神父が便宜上つけたもので、正式名はわかっていません。

語って下さい



1632年5月、幕府は男女120名のハンセン病の信者をマニラに追放します。この中に「京

都のラザロ」も入っていました。幕府のハンセン病者に対する蔑視、キリスト教に対する憎しみ、フィリピン政府に対する懲罰などを兼ねて行った追放です。

1634年、琉球に住む日本人信者達が、禁教下の日本で神父派遣を望んでいること、また神父達を日本まで送り届けるための準備があることをスペイン人船乗り達が知り、その情報が1636年初めにマニラのドミニコ会本部に届きます。ドミニコ会本部で協議の末、全員一致で日本行きが決まりました。選ばれたのは、3人のスペイン人神父、1人の日本人神父そして神父達の通訳、道案内として役立ちたいと熱望する「京都のラザロ」でした。

この5人の一行に、船がマカオかその他の自分の身の安全な所に行けると思い乗船したロレンゾを加えて、船はマニラを出帆しました。7月10日、琉球に着きますが、幕府の取り締りは一段と厳しくなっており、上陸後間もなく捕えられ、約一年間の牢獄生活を送ります。1637年9月になって、彼ら一行は2隻の船に乗せられ幕府の命により長崎に運ばれます。

9月13日、ギロルム・クルテ神父、ミゲル・デ・アオザラザ神父、クルスのヴィセンテ塩塚神父の3名が到着、尋問の後、水責めが続けられ、あまりの苦しさから塩塚神父が一時的ではあるが棄教させられたほどであった。

9月27日、一行の指導者であるアントニオ・ゴンザレス神父と「京都のラザロ」フィリピン出身のロレンゾ・ルイスの3人を乗せた船が着いた。彼らに対しては、棄教者クリストバル・フェレイラが尋問し、尋問後、奉行より水責めの命令が出た。

この時、「京都のラザロ」は先に水責めの拷問を受けている3人を見て、恐ろしさのあまり棄教する。だが、役人は他の修道者のことを白状させるため「京都のラザロ」も同じように拷問にかけた。

神父達の説得と励まし、祈りによって「京都のラザロ」は自分をとり戻し、改心することができた。塩塚神父も同様で、両名は再び棄教することにはなかった。

1637年9月24日、「京都のラザロ」のよき指導者であったアントニオ神父が牢死する。9月27日、残された5名は、西坂の刑場

に運ばれ、逆さに吊され、掘られた穴に体の半分まで入れられた。この穴吊しで棄教する者はいなかった。

9月29日、奉行達は、狩りに行くために彼らを穴から出して斬首するように命じた。この時「京都のラザロ」とロレンゾはすでに息絶えていた。3人の神父が斬首され、屍は西坂の丘で皆焼き捨てられた。信者達が、殉教者の遺品を保存し、崇敬の対象としないように、残された灰さえも海に投棄された。

地上においては蔑まれ、自分の名前もなく、灰さえも残されなかった殉教者「京都のラザロ」は、今、天において、神様のふところから、多くの人を招き、語りかけています。「京都のラザロ」は私たちの身近な聖人であることを知り、正しい神の道を歩み通す大きな力となるものと信じます。

京都キリシタン研究会 高橋

列聖式は10月18日です。教区の皆様とともにお祝いしたいと思います。

お知らせ



教区スケジュール

9月

7日 司祭評定例会議

11日 奈良エンカウンター

14日 司祭修道士研修会

15日 祝衣笠教会バザー

20日 大和郡山教会バザー

スカウトサンデー全体集

会(奈良)

21日 京都南部司祭集会

23日 京都南部地区50周年記念

行事

奈良地区50周年記念ミサ

とウォーカソン

27日 京都北部地区50周年記念

ミサ

SVP(西陣)ピンセン

シオ・ア・パウロ記念ミサ

10月

11日 聖書が好きななる講座

第3期修了派遣式

16日 SVP京都中央理事會

18日 三重地区50周年記念ミサ

聖体賛美と感謝の集い(西陣)

京都の「ラザロ」列聖式

19日 23日 南部司祭黙想会

▼研修会のご案内

日時 10月17日(土)PM2時〜5時

テーマ 開かれた教会と青年

講師 山田経三師

対象 青年男女

日時 10月18日(日)AM10時〜PM4時

テーマ 開かれた教会とは

講師 山田経三師

対象 すべての方々のため

場所 聖ドミニコ女子修道院(両日とも)

申し込み 10月15日(木)まで

〒602 京都市上京区河原町今山川梶井町448

☎075(231)2017 Sr渡辺へ

レデンプトール会創立者
聖アルフォンソ聖天200周年

とともに祝いましょう

日時 10月18日(日)PM1時

場所 聖アルフォンソ加悦教会

京都府与謝郡加悦町加悦

☎07724(2)2920

内容 記念式典、祝賀ミサ

ーミサ後

音楽コンサート、展示会

加悦教会では10月18日、一人でも

多く皆さんのご参加をお待ちして

います。

＋ 帰天

ジョン・モリス神父

7月10日 98歳(メリノール会司祭)

ニユーヨーク、メリノール会テレシアホームに

おいて老衰のため帰天されました。故モリス

神父は1936年頃より京都教区で主として韓国

の人たちのために働かれ、戦争によって神戸に

抑留され、終戦後米国に帰られました。その宣

教の奉仕を感謝いたしますと共に神のみの永

福を祈ります。

▼祈りとミサへのご案内

日時 毎月第2木曜日PM7時〜9時

(10月8日、11月12日、12月10日)

場所 聖ヨゼフ本部修道院

指導 リチャード師(御受難会)

対象 男性信徒

▼詳細は聖ヨゼフ本部修道院(右京区竜安

寺御陵の下町)☎075(462)0754

▼黙想会のご案内

日時 10月24日(土)〜25日(日)

対象 青年女性信徒

指導 ルカ師(フランシスコ会)

場所 聖ヨゼフ本部修道院

〒京都市右京区竜安寺御陵の下町1番地

☎075(462)0754

会費 3,000円

▼申し込みは10月19日まで☎かハ

ガキで右記修道院まで▼詳細は聖

ヨゼフ本部修道院シスター林まで

第2回園部教会

チャリティコンサート

難民救援金募金

―苦しみを分かち

助け合おう

日時 10月18日(日)PM2時開演

演奏 大代 恵さん

(京都市出身、広島文教女子大学講師
オルガニスト協会関西支部所属)

演奏曲目

オルガンによるクラシック。

バッハ、メンデルスゾーン他

七曲演奏。約2時間

協力券 1枚1,500円

主催 園部教会コンサート実行委員会

後援 園部町文化協会

※収益金はカリタスジャパンおよ

び福祉関係に配分寄附します。



自分の自転車小さなカゴにお
母さんの荷物を乗せようと努力し
ていた男の子が、どうしても入ら
なくて「お母さんごめんね」と
かわいい声で……。その一言がと
ても温かく感じました。(い)